

ザバーン® 防草シート

技術資料(施工方法・施工写真)

5つの最大の特長

雑草の抑制効果

1本1本の太い繊維が融着しているため強度及び寸法安定性が極めて高く、イネ科の植物やスギナ、チガヤ、ヨシなどの貫通力の高い植物でも抑制します。



約1年経過写真:
シート下の雑草は枯れているが土は良い状態である



笹の抑制状況:
笹によるシートの貫通はなくシート下の笹は枯れて抑制されていた。



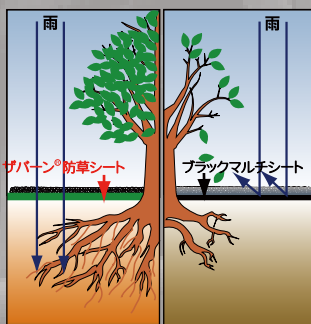
スギナの抑制状況:
スギナによるシートの貫通はみられなかった。



沼地帯にあるヨシの群生の抑制

水はけ効果

薄い構造であることから目詰まりし難く水を良く通すため水はけに優れ、空気を良く通すことから土に影響を与えない。又、元々水はけの悪い場所に暗き排水用のフィルターとしての効果もあります。



抜群な透水性により砂利がすばやく乾く

透水性が悪いため水はけが悪い



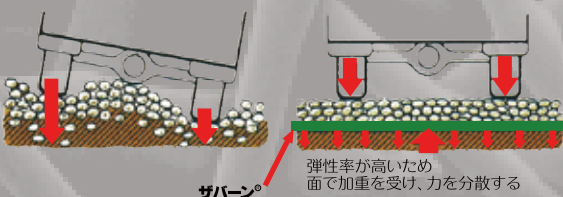
抜群な透水性



粘土層などで水はけが悪い状態

砂利の沈下防止効果

雨、融雪、霜柱、歩行などによりいつのまにか砂利は沈下します。このシートを敷くだけで、沈下を防ぎ、補充が不要になります。又、ザバーン®防草シートには高い強度と弾性率を兼ね備えており、長期間による砂利の沈下や路盤の変形、轍を防止します。



ザバーン®

弾性率が高いため面で加重を受け、力を分散する

高い耐久性

ザバーンはデュポン社の特殊な加工方法により常に紫外線に曝される場所でも長期間劣化に耐え、砂利下などの紫外線に当たらない場所であれば半永久的に効果が持続できます。又、ザバーンはポリプロピレン100%ですので加水分解が起きりません。



約8年暴露した状態でも破れずに防草効果がある。又、砂利の下であれば半永久的です。

もちろん環境にやさしい素材です

ザバーン®は土壌汚染等、環境に影響する化学物質は使用していません。

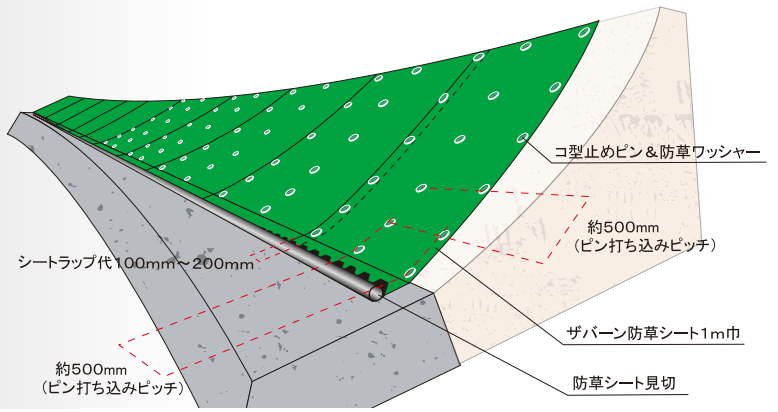




SLANTINGLY AREA

法面

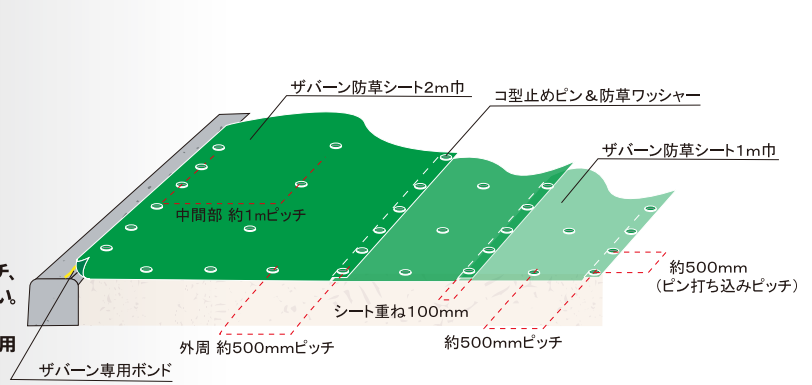
- ① 施工する場所の雑草を刈りある程度整地します。
 - ② ザバーンを敷きます。この時にシートがピンと張るようにきれいに敷き込みます。
 - ③ 法面の場合シートラップ代を20cmとすることを推奨します。
 - ④ シートの外周に防草ワッシャーとコ型止めピンを併用し縦横共に500mmピッチに打ち込みシートを固定します。ピンの種類、必要本数に関しては下記※注1を参照して下さい。
- ※ラップ部分は2枚重なり合った上からピンを打ってください。
 (推奨)シート重ね部分をボンド接着すると更に防草効果が高まります。ザバーン専用ボンド(カートリッジ式)のノズルをシート重ね部に差し込みボンドを注入します。
 (推奨)シート端部は防草シート見切でコンクリート部分にアンカー固定します。



UNUSED HUGE SPACE

平面

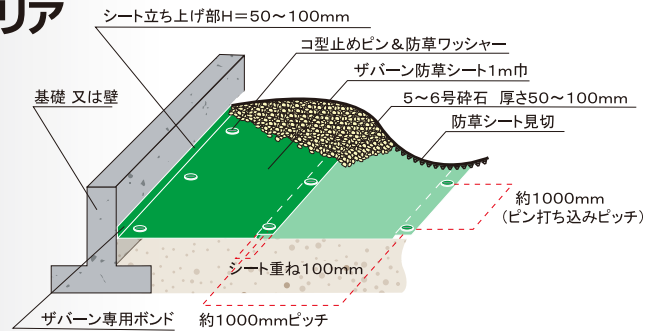
- ① 施工する場所の雑草を刈りある程度整地します。
 - ② ザバーンを敷きます。この時にシートがピンと張るようにきれいに敷き込みます。
 - ③ 平面の場合シートラップ代を10cm以上とります。
 - ④ 防草ワッシャーとコ型止めピンを併用し打ち込み固定します。シート外周を500mmピッチ、中央部を1mピッチで打ち込みます。ピンの種類、必要本数に関しては下記※注1を参照して下さい。
- ※ラップ部分は2枚重なり合った上からピンを打ってください。
 (推奨)シート重ね部分をボンド接着すると更に防草効果が高まります。ザバーン専用ボンド(カートリッジ式)のノズルをシート重ね部に差し込みボンドを注入します。
 (推奨)シート端部は防草シート見切でコンクリート部分にアンカー固定します。



EXTERIOR

エクステリア 砂利下

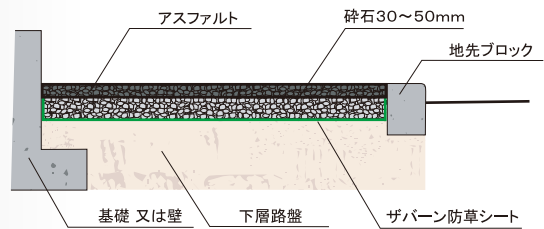
- ①②③は平面施工と同様
 - ④ 防草ワッシャーとコ型止めピンを併用し縦横1mピッチに打ち込みます。
- ※ラップ部分は2枚重なり合った上からピンを打ってください。
 シート端部は砂利がこぼれるので防草シート見切を設置します。
 (推奨)シート重ね部分をボンド接着すると更に防草効果が高まります。ザバーン専用ボンド(カートリッジ式)のノズルをシート重ね部に差し込みボンドを注入します。



PAVING with ASPHALT

アスファルト

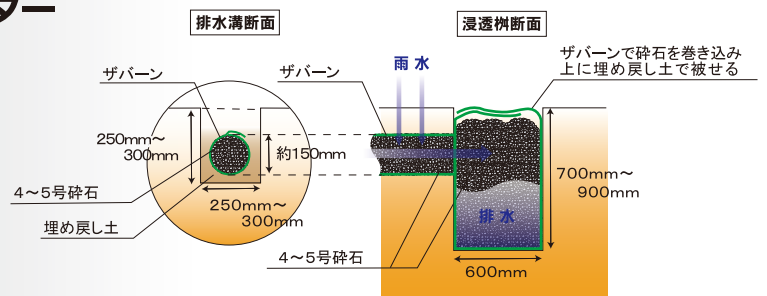
- ①②③は平面施工と同様
- ④ 防草ワッシャーとコ型止めピンを併用し縦横1mピッチに打ち込みます。
- ⑤ ラップ部分は2枚重なり合った上からピンを打ってください。
- ⑥ 砕石を30mm~50mmの厚さで敷きこみランマー等で転圧します。
- ⑦ あとは通常のアスファルト施工と同様の施工です。



FILTRATION

フィルター

- ① ぬかるみが出来やすい水はけの悪い場所はザバーンで簡易的な浸透枡(巾600mm深さ700~900mm)を設け枡に排水するようにします。
- ② ザバーンを浸透枡内部に袋状に敷き込み4~5号砕石を入れます。
- ③ 次に巾・深さ共に250~300mmの排水溝を浸透枡に向けて設けます。この場合水はけの悪いスペースの一番低い場所を探し、そのスペースの水が排水溝に流れるよう必要な長さを設けます。
- ④ 排水溝もザバーンで砕石を包み埋め戻します。(右図参照)



※注1 上記はあくまでも参考施工方法となりますので雑草防止や施工を保証するものではありません。現場の状況や環境などによって施工方法を考慮する必要があります。特にピンの長さ、打ち込み本数は土壌の固さ、風が強い場所など様々な環境に左右されますので各場所ごとに材料の選定を必ず行ってください。

■背丈約3mのヨシ(葦)を防止 ザバーン240G

草刈り機で除草する。(抜根なし)



ザバーンを敷設し、5cmの厚さでバラスを敷設する。

3ヶ月程度経過して、ザバーン無施工地帯は既にヨシが生えてきている。

1年経過写真
ヨシを防ぐことに成功し経過も順調である。

■チガヤの防止 ザバーン240B



■河川敷法面施工 ザバーン240B



キワのボンド施工

■植栽帯の雑草防止 ザバーン240G



5年経過写真



植栽帯への敷設

■植栽マット



■広範囲による防草 ザバーン240G



防塵・防草対策として



従来は畑であった場所の雑草抑制と防塵対策



中央分離帯の防草

■線路周辺の雑草防止



■店舗・住宅廻りの雑草防止



なぜザバーン?

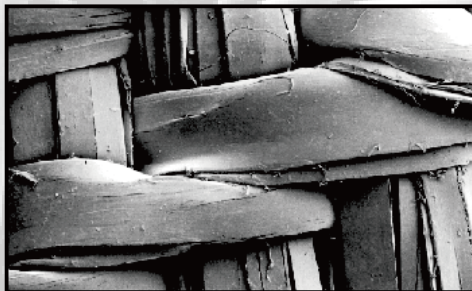
下記の拡大写真はザバーンを他のファブリックと比較するため同じ倍率で撮っております。

ザバーン



太い繊維を縦横無尽に重ね合わせ、繊維同士を熱圧着してあるため強度を保ったまま薄く仕上げることができる。1本1本が融着しているため強度及び寸法安定性が極めて高く、イネ科の植物やスギナ、ヨシなどの貫通力の高い植物でも貫通することが出来ない。薄く仕上げている為、軽く作業性が良い。水と空気を良く通すため土に影響を与えない。

織布 (ブラックPPシートなど)



一般にテープなどを裂いたものを一定方向に織っている。織っているため特に繊維同士は融合していないので斜めの引張りなどに弱く繊維との隙間から強い植物ですと貫通しやすい傾向がある。水と空気を通す量は少ない。

ニードルパンチ (カーペットなど)



細い繊維を縦横無尽に絡ませ所々パンチングで繊維同士を溶かし合い融合している。そのため厚手のシートになり重量が増える。ある程度厚みがあるため目詰まりする恐れがあり、水や空気の流れを制限する。

取扱店：

G&F
GreenField

www.gfield.co.jp

sales@gfield.co.jp

株式会社 グリーンフィールド

〒270-1137 千葉県我孫子市岡発戸919-4
Tel: 04-7165-9900 Fax: 04-7165-9905
〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原2-6-22-702
Tel: 019-621-3230 Fax: 019-621-3231
〒028-3314 岩手県紫波郡紫波町大巻八竜64-3
Tel: 019-621-3230 Fax: 019-621-3231
〒673-0041 兵庫県明石市西明石南町2-3-7
Tel: 078-939-4130 Fax: 078-939-4131